



# 新・今日の作家展2024 あなたのの中のわたし New "Artists Today" Exhibition 2024: I Found Myself in You

「新・今日の作家展」は、1964年の開館以来、横浜市民ギャラリーが40年にわたり開催した「今日の作家展」を継承し、同時代の表現を紹介・考察する展覧会です。「今日展」60周年となる今年には、「あなたのの中のわたし」を副題に、二名の若手アーティスト、スクリプカリュ落合安奈と布施琳太郎を紹介いたします。

〈わたし〉—自分が何者なのかという問いは、多くの方が一度は抱いたことがあるでしょう。一方で私たちは他者と不可分の存在であり、〈あなた〉—他者に触れることが、翻って自らに対する新たな気づきを導くことがあります。スクリプカリュ落合安奈(1992年生まれ)は日本とルーマニアにルーツを持ち「土地と人との結びつき」をテーマにインスタレーション、写真、映像など様々な手法で制作をしています。2022年から約一年間ルーマニアに滞在した経験を経て、昨年より写真を中心とする《ひかりのうつわ》を複数の形式で発表しています。布施琳太郎(1994年生まれ)はスマートフォン発売以降の都市における「孤独」や「二人であること」の回復に向けて、自ら手がけた詩やテキストを起点に、映像作品やウェブサイト、キュレーションやイベントの企画、書籍の出版など、多方面で活動を行っています。本展で提示する、〈わたし〉と〈あなた〉の関係性から展開する彼らの作品を通じ、それぞれ唯一無二である自己と他者、またその私たちが成す社会について思いめぐらす機会となれば幸いです。

**出品作家** 布施琳太郎 FUSE Rintaro  
スクリプカリュ落合安奈 SCRIPCARIU-OCHIAI Ana

**新・今日の作家展2024**  
あなたのの中のわたし  
2024年9月14日(土)~10月7日(月) 会期中無休  
10:00~18:00(入場は17:30まで)  
横浜市民ギャラリー-展示室1、B1 入場無料  
主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)  
協力:SNOW Contemporary



布施琳太郎《いつまでも明ける夜のなかで》2021年 撮影:竹久直樹



布施琳太郎《原料状態の孤独を、この(その)鏡指の高次元特殊化する》2019年 撮影:布施琳太郎



布施琳太郎《餃子美術館計画》2024年 ビデオインスタレーション 撮影:竹久直樹

**関連イベント** ※いずれも参加無料、申込不要

- 出品作家ミニトーク**  
スクリプカリュ落合安奈×布施琳太郎  
9月14日(土)15:00~15:40  
会場:横浜市民ギャラリー4Fアトリエ
- 対談「横浜の開発・展示作品について」**  
布施琳太郎×木村絵理子(弘前れんが倉庫美術館館長)  
10月5日(土)14:00~15:30  
会場:横浜市民ギャラリー4Fアトリエ
- 対談「越境するひかりー移動する身体、文化の継承」**  
スクリプカリュ落合安奈×毛利孝幸(社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)  
10月6日(日)14:00~15:30  
会場:横浜市民ギャラリー4Fアトリエ
- 学芸員によるギャラリートーク**  
9月21日(土)14:00~14:30  
会場:横浜市民ギャラリー4Fアトリエ

\*詳細は当館ホームページをご覧ください。※出品作家2名のインタビューを事前収録し、Webと会場で公開します。



スクリプカリュ落合安奈《ひかりのうつわ》2023年 スクリプカリュ落合安奈《ひかりのうつわ》2023年



スクリプカリュ落合安奈 collaborate with 落合由利子《わたしの旅のはじまりは、あなたの旅のはじまり》2021年 ミクストメディアインスタレーション | Photo by Keizo Kikou

**横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.30 村上善男**

村上善男さん(1933-2006)は若手県盛岡市生まれ。1953年20歳で二科展に初入選、中学の教員をしながら東京や盛岡で作品を発表して頭角を現し、1962年以降は二科会を離れ個展やグループ展を中心に活躍しました。大きな衝撃を受けたという「今日の芸術」の著者・岡本太郎氏に出会われ交流し、画中に大量の注射針を貼り付けるなど独創的な発想で、緊張感みなぎる作品を遺しました。横浜市民ギャラリーでは、1964年から40年以上にわたり開催された「今日の作家展」の第1回、第10回(74年)、第12回(76年)に出品し、1977年には個展もおこなっています。その縁で収蔵された《R気団 76-7》は、70~80年代に取組んだ気象図をテーマとするシリーズの作品です。「SOFT HAIL(雪あられ)」「AIR HOAR(樹霜)」といった冬の気象用語や数字、矢印などがステンシルやコラージュも用いて記号的に反復して示される一方、うっすらとしたグレーの柔らかな色づけが冷たい大気の動きをイメージさせます。終生東北の地を拠点に制作された作品は、その風土と分かちがたく結びついています。



村上善男《R気団76-7》1976年 アクリル、コラージュ、キャンバス 194.0×130.0cm 横浜市民ギャラリー蔵

予告 **ハマキッズ・アートクラブ**  
子どものためのアトリエ講座

子どものためのアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」では、小学生以下の幼児・児童を対象に、造形を中心とする講座を年に10回開催しています。子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、アートを通じて大人になるために必要な自立心を育むことを目的とする講座です。

**スタンプ!スタンプ!スタンプ!**  
いろいろなモノで、えのぐをペタン!どんな形ができるかな?

11/24(日)10:30~12:00  
講師:川崎和美(造形作家) 参加費:1,500円(材料費込)  
対象・定員:年長児 18名(抽選) 受付期間:9月下旬~11月6日(水)まで

**ポップアップカードをつくろう**  
ひらくととびだす仕組みをつけて、色画用紙で立体的なカードをつくろう。

12/14(土)13:30~15:30  
講師:太田瑞穂(アーティスト) 参加費:1,500円(材料費込)  
対象・定員:小学1~3年生 18名(抽選) 受付期間:9月下旬~11月27日(水)まで

**ぼくのわたしのみんなのおうち**  
どんなおうちをつくりたいかな?ダンボールや色紙を使って、自分だけの家をつくろう。

2025年 1/26(日)10:30~12:00  
講師:大竹美佳(造形作家) 参加費:一組1,500円(材料費込)  
対象・定員:年少~年長児と保護者 15組(抽選) 受付期間:9月下旬~12月25日(水)まで

予告 **大人のためのアトリエ講座**  
クリエイティブな時間を過ごしたい方におすすめの講座

横浜市民ギャラリーでは、学生からシニア世代まで、幅広い年齢層の方々が、経験を問わずに創作活動やレクチャーを楽しむことができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。ギャラリーフロア最上階にあるアトリエにて、身近にアートを感じながら、さまざまなクリエイティブ体験が楽しめます。

**ヌードクロッキーBコース(全4回)**  
モデル(ヌード)を目の前に、参加者のみなさんが、それぞれのペースや目標でクロッキーに取り組む時間です。5、10、20分と時間を換え、いろいろなポーズを描きます。講師による指導はありませんが、担当スタッフが在室します。

11/14(木)、21(木)、28(木)、12/5(木)  
14:00 ~ 16:30 ※初回のみ13:45 ~  
対象:18歳以上  
定員:20名程度(応募多数の場合は抽選)  
参加費:7,000円(全4回分)  
受付期間:9月中旬~10月18日(金)必着

**レクチャー 建築でひもとく横浜(全1回)**  
建築の視点から横浜の歴史や、人々の暮らしについてお話をうかがえます。当館の歴代建築を主軸に、近隣の紅葉ヶ丘の建築群(前川國男設計)や、戦後復興の中で生まれた防火帯建築など、横浜建築の魅力をご紹介します。

11/30(土)14:00 ~ 15:30  
講師:中井邦彦(神奈川大学建築学部教授)  
定員:50名程度(応募多数の場合は抽選)  
参加費:500円  
受付期間:9月中旬~11月15日(金)必着

「ハマキッズ・アートクラブ」「大人のためのアトリエ講座」の詳細・申込方法等は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

報告 **横浜市こどもの美術展2024**  
今年も子どもたちの作品1,485点が一堂に並びました!

1965年に始まり今年で56回目となる「横浜市こどもの美術展」では、横浜市内在住・在学の12歳以下の子どもたちが描いた絵画を募集し、1,485点のご応募をいただきました。会期中は、当館1階から3階まで、3フロアの展示室が子どもたちの思いのこもった作品でいっぱい!今年のテーマ「ひと」部門では、自分や家族の姿、たのしかった思い出の場面など、様々な捉え方で「ひと」を表現した作品が集まり、「自由テーマ」部門は自分の好きなものや表したいものを思い思いに描いた作品が並びました。来場した子どもたちは、大きなギャラリーに展示された自分の作品を発見し、うれしそうに記念撮影をおこなっていました。本展では、子どもたちが様々な角度から美術を体験できるよう、関連イベントも開催。当館所蔵作品による「こどものためのコレクション展」では、アーティストが「ひと」をどのように表現しているか、作品カードをヒトに鑑賞していただきました。会場には「ききたがりお兄さん&お姉さん」(学生インターン等)が時々出没し、来場者と作品を見ながら感想をうかがうなど、鑑賞を深める一助となりました。自由参加ワークショップでは、人の顔をつくる紙工作に子どもも大人も熱中!会場運営にあたっては、中学生以上の幅広い年代のボランティアが温かく来場者を迎え交流が生まれました。



応募作品の展示風景 photo: Ken KATO



こどものためのコレクション展「みてみよう!○○ひと」 photo: Ken KATO

「ききたがりお兄さん&お姉さんと話そう!」 photo: Ken KATO



ボランティアが運営をサポートしました。 photo: Ken KATO

自由参加ワークショップ「このかおだ~れだ?」 photo: Ken KATO

**横浜市こどもの美術展2024**  
2024年7月19日(金)~28日(日)全10日間  
10:00~17:00  
横浜市民ギャラリー 展示室B1~3  
出品作品:ひと部門502点、自由テーマ部門983点=合計1,485点  
入場者:展覧会9,952名、イベント3,464名、ボランティアのべ69名、インターンのべ10名=合計10,377名

関連事業:  
こどものためのコレクション展「みてみよう!○○ひと」  
自由参加ワークショップ「このかおだ~れだ?」  
「ききたがりお兄さん&お姉さんと話そう!」7/20、21、25~28

主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)  
後援:横浜市教育委員会

**ご利用ください 無料送迎サービス**  
JR桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを巡回  
お身体の不自由な方・高齢者の方に配慮した送迎サービスです。(健康者の方もご利用いただけます)。送迎車の定員:9名(車いす1台を含む)  
桜木町駅東口タクシー降車場看板付近に停車します。  
※状況により運休等場合があります。必ず運行状況を事前にご確認の上、ご利用ください。

【送迎車時刻表】  
JR桜木町駅発 横浜市民ギャラリー発

9	45	10	10	30	50		
10	00	20	40	11	10	30	50
11	00	20	40	12	10	30	50
12	00	20	40	13	10	30	50
13	00	20	40	14	10	30	50
14	00	20	40	15	10	30	50
15	00	20	40	16	10	30	50
16	00	20	40	17	10	30	45
17	00	20		18	00		

※運行時刻は9時45分桜木町駅発、18時00分横浜市民ギャラリー最終発です。ただし展覧会初日と最終日、展示室の利用時間によっては、始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合がありますので必ず事前にホームページが電話等でご確認ください。※原則第3日曜日、年末年始は休館日のため運行がありません。また、展覧会のない日も全便運休です。※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。



**横浜市民ギャラリー**  
〒220-0031 横浜市西区宮崎町26-1  
TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 <https://ycag.yafjp.org/>  
10:00~18:00 原則毎月第3日曜日、年末年始休館  
<https://facebook.com/ycag1964> [@ycag1964](https://twitter.com/ycag1964)

**電車でのアクセス**  
JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。

**バスでのアクセス**  
市営バス103・292系統「戸部1丁目」[野毛坂]から徒歩2~4分/市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分/市営バス8・26・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分

**送迎サービス**  
お身体の不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシー降車場看板付近★に送迎車が停車します。運行スケジュールや定員等は当館ホームページをご覧ください。

**P 駐車場**  
有料、予約制[予約専用tel.045-315-4440 | 1週間前から受付]